

平成29年度 グループホームゆうかり事業計画（案）

《事業名》

『共同生活援助』

【1】運営の基本方針

15箇所ホーム入居者の安心・安定した生活が送れるように支援体制を充実させ、サービスの質の向上を図りつつ、利用者個々の生活を支える。就労者・通所利用者においては、勤務先・通所先との連携を密にとる。

世話人及び担当職員と連携を取り、サービス管理責任者は個別支援計画を作成する。

【2】平成29年度の概要

平成29年3月17日時点

名称	所在地	性別	定員	期首	現員
わかたけ荘	本名	男性	4	4	4
あおい	緑ヶ丘	〃	5	4	4
びおら	西伊敷	〃	4	4	4
あじさい	〃	〃	5	5	5
さくら荘	〃	女性	5	5	4
まるおか	岡之原町	男性	4	4	3
きんもくせい	〃	〃	6	6	6
すずらん荘	〃	〃	7	6	7
さざんか	〃	〃	6	5	5
もくれん	〃	〃	5		5
たんぽぽ	〃	〃	5		5
第2わかたけ荘	〃	女性	6	6	6
ひまわり	〃	〃	4	4	4
わかば	〃	〃	4	4	4
コスモス	〃	〃	5	5	5

【3】本年度の重点目標

1. もくれん・たんぽぽ支援体制の確立

現「さざんか」の敷地の奥に平成28年9月1日に男性10名で開所した。夜勤者を配置し安心して過ごしやすく、快適な生活を支援できるように努める。

2. グループホームの充実

入居者が安心して暮らせる場として、日中は学園での活動に参加する事が地域で生活するうえでも明るく楽しい雰囲気を作ることができ、活動終了後は各配置職員が利用者のニーズに答えられるよう、個別対応を心がける。

グループホームゆうかり

3. 個別支援計画の作成・ケース記録の充実

複数の世話人を中心に多くのスタッフによるチームケアを想定し、統一した計画書等を作成し、それらに目を通すことで情報を共有する。

4. 家庭通信の発送

入所利用者同様、家庭通信を家庭に発送する。(法人内各種行事予定の周知、利用者の様子を確実に伝える。)

5. スタッフ配置

各ホームに世話人を配置し、バックアップ施設(ゆうかり学園)から担当職員を1名ずつ配置しホーム、学園との連絡体制を強化する。

6. スタッフとして

サービス提供時に最も重要となるのは、利用当事者の意思の尊重である。意志の確認が困難な場合や、諸課題を抱えている場合は、バックアップ施設の担当職員等と連携し、課題解決へ向けての方策を探る。

7. 世話人並びに担当職員会議

原則、月に1回開催する。世話人会議開催前には必ず世話人との意見交換、情報共有し、会議の充実を図り利用者支援、ホームの改善等を進める。

【今後の課題】

1. アパートでの一人暮らしの生活希望
2. 入居者同士でのトラブル(暴力)
3. 異性関係
4. 夜間支援の充実

数名の方の問題ではあるが、今後個別に対処していく事が大切である。特に支援員、世話人との連携が重要で日々の支援にも十分な配慮が必要になっていく。

【その他】

消防法令改正に伴う

- ・スプリンクラー設備の設置
- ・火災通報装置の設置